

第2回北臨技精度管理セミナー「コスモス」終了報告

研修部長 三浦 玲子

平成23年9月17日(土)の午後から18日(日)のお昼まで、札幌医科大学病院臨床教育研究棟 講堂で第2回コスモスセミナーを開催しました。雨模様で肌寒い天候でしたが、当日に参加を申込みれた医師や賛助会員もいまして、受講者は90名ほどでした。

第一部は、北臨技の検査研究部門が行った精度調査の報告でした。形態の病理・細胞・一般は平成22年度の結果解析を、感染免疫部門は今年度に初めて行ったグラム染色調査についての結果と解析報告でした。

第二部は、日臨技の精度管理調査の北海道分の集計結果の解析報告です。全国の集計結果と北海道の結果の比較で偏りや不足している箇所を見つけ出すことを目的とし、その箇所を改善するために行っています。

第三部は、精度管理調査先進県の愛知県の現状を知ろうという講演でした。愛知県は、医師会と技師会、行政が協力して精度管理調査の協議会が設置され、そこを核として精度管理事業が行われています。検査を依頼する側も精度管理の重要性を把握しており、うらやましさを感じました。また、精度管理調査に参加できない施設や改善を示唆された施設に対しての働きかけが大事だとのお話は、北臨技での取り組みのヒントになりました。

18日(日)は各地区のサーベイ結果と全体の傾向についての報告でした。目標値設定の困難さが認められた内容でした。本セミナーは一人で幾つかの検査を受け持っている技師のため会場を分けずに色々な話が聞けるように企画しています。より良いセミナー作りのため御意見をお待ちしております。

第86回北海道地区医学検査学会「日臨技企画」のご案内!

『日臨技データ標準化・精度保証セミナー』

『味覚・嗅覚教育講演』

日臨技では日臨技主催の外部精度管理調査およびデータ標準化事業に参加し認定基準を満たしている施設に対し「精度保証施設認証」を与える制度を発足させました。本制度の実施により精度保障に対する意識が高まり結果的にわが国の医療の質の向上に繋がっていくものと考えられます。本セミナーでは精度保証施設認証制度の内容を中心に日臨技データ標準化事業について日臨技検査値標準化部会委員からお話を伺います。

日臨技は臨床検査等に関する法律施行規則第1条に規定される生理学検査に耳鼻咽喉科領域の「味覚検査・嗅覚検査」を加えることを平成元年より継続的に要望しています。この検査を臨床検査技師の業務とすることは医師及び医療機関関係職種との効率的な役割分担を推進する観点からも大変意義のあることと考えられます。そのためには我々臨床検査技師が味覚・嗅覚検査を充分理解していることが重要となります。

日時：平成23年10月22日(土)15時50分～17時20分
テーマ：「日臨技データ標準化事業について」

日時：平成23年10月23日(土)10時00分～12時00分
テーマ：「味覚の生理学と検査」

—精度保証施設認証取得を目指して—

講師：岩手医科大学附属病院 齋藤 篤 技師
※セミナー参加者に「参加証明証」を発行します。

講師：日本大学医学部 教授 池田 稔 先生
テーマ：「嗅覚障害の病態と診断手順」
講師：金沢医科大学医学部 講師 志賀 英明 先生

平成23年度第2回理事会 終了報告

事務局長 橋内 健一

第2回理事会を平成23年9月18日(日)、札幌医科大学附属病院地下会議室において開催しました。

北臨技は今、本年6月に開催した第1回定期総会において「一般社団法人への移行」、「一般社団法人定款改正案」の承認を受け、平成24年4月1日の一般社団法人移行に向けて、移行申請書類の準備、諸規程の改正に取り組んでいます。

今回の理事会では、組織運営規程、総会運営規程、役員候補者選出規程、教育研修機構規程、表彰規程、会立検査所運営規程など、諸規定の改正案について審議し承認されました。(北臨技は法人制度のもと、様々な条文を定め運用しています。)

来月には所管の道庁に、一般社団法人へ移行認可の申請を行う予定です。会員皆様には、今後も引き続きご理解とご協力をよろしくお願い致します。

講習会参加申し込み時の確認のお願い

講習会の参加申込受付通知はファックスで返信しています。申込用紙が白紙で届く場合がありますが施設名や番号があれば連絡できますが用紙に連絡先が無い時はお知らせする事ができません。申込時から10日以上たっても受付通知が届かない場合は必ず北臨技事務所まで連絡を下さるようお願いすると共に受付通知到着の確認をお願いします。

第165回講習会「血液疾患の発見と報告」終了報告

生命倫理部門長 阿部 清孝

9月3日に開催した生命倫理部門血液形態講習会は、どの検査室でも遭遇するかも知れない「血液疾患の発見と報告」をテーマとして取り上げました。講義は旭川医科大学病院竹中技師に「日常業務で経験した血液疾患の臨床所見」として実際の症例を基に正しい診断に導くためのキーポイントを講演いただき、引き続き、顕微鏡による症例の鏡検を行いました。鏡検は実際の標本を観察することを目的として、診断名を明記したデータシートを添付した5症例を1班として4班、診断名を明記しない問題形式症例を1班の合計5班に分け、1班10～11名で行いました。各班に講師を2名ずつ配置して参加者の質問への受け答えを行い、最後に問題形式症例の解説と意見交換を行いました。悪天候にも関わらず参加いただいた方々は、限られた時間の中ではありましたが、積極的に標本を観察しメモを取り、質問する姿が見られました。これからの日常検査に役に立っていただけるのではないかと期待しています。

・北臨技会誌・

会誌通巻18号(学会特集号)を同封発送しております。10/22-23 帯広学会にご参加の際は、会誌及び23年度会員証をお持ちください。

・求人情報・

◇名寄市 内科クリニック 増員採用(常勤orパート)
検体検査・心電図・エコー(未経験者可)
※詳細は北臨技事務所へお問合せください。